

幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会

静岡県の幼児教育推進体制



静岡県幼児教育推進マスコット
「わっ!ぴよん」

静岡県幼児教育センター



「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会



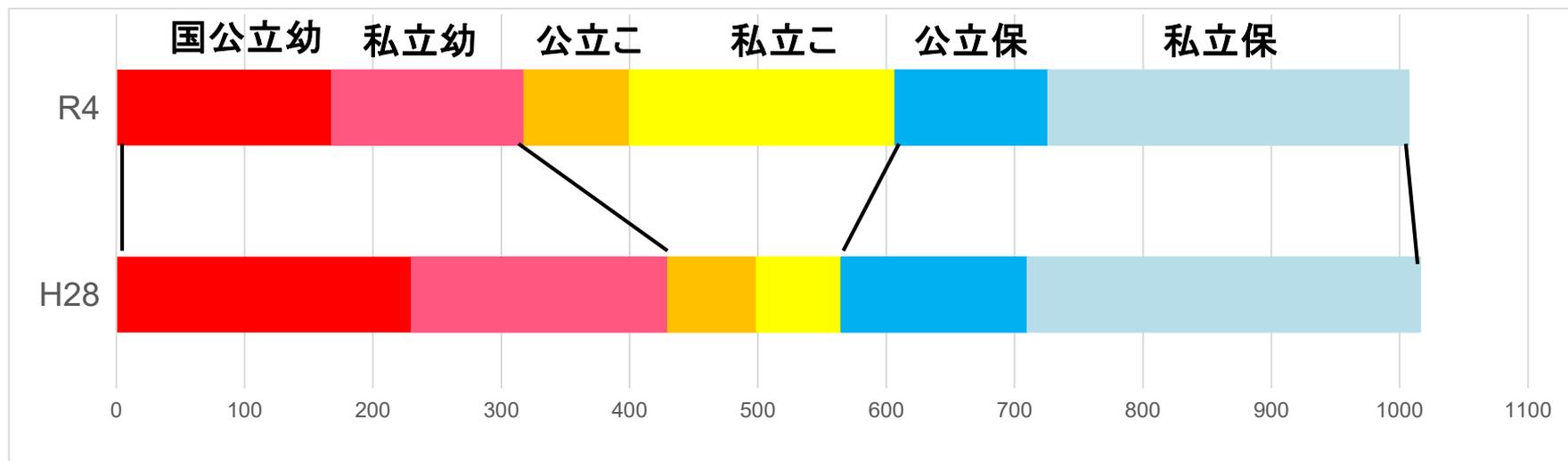
静岡県データ【人口：約360万4千人】(R4.5)

【自治体数】

政令市	2
市	21
町	12
計	35

【幼児教育施設】

幼稚園	318	(国1 公167 私150)
保育所	400	(公119 私281)
認定こども園	289	(公82 私207)
(幼保連携型)		



「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



公私立、施設類型、市町の規模や組織が多様である本県において、
全ての子供が質の高い幼児教育を受け、小学校に円滑に接続できるようにするためには、
県内の幼児教育や保育に携わる関係者が相互に連携した幼児教育推進体制を各市町が
構築し、県がそのプラットフォーム的な役割を担うことが重要



- 平成26年 静岡県就学前教育推進協議会を設置
- 平成27年 静岡県総合教育センターの幼児教育センター機能を拡充
- 平成27年 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に関する方針の策定
- 平成28年 静岡県教育委員会義務教育課内に幼児教育推進室を設置
県民向けには静岡県幼児教育センターとして周知
- 平成28年 幼児教育推進体制構築事業(平成30年度まで)
- 平成31年 幼児教育推進体制の充実・活用強化事業(令和3年度まで)
- 令和 4年 幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業
(令和6年度までを予定)

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



静岡県幼児教育センターの役割

★各市町における幼児教育推進体制構築の支援

★質の高い保育者の育成

(研修開催、調査・研究の実施・保育資料等の作成)

★幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進

幼児教育推進体制構築事業

(H28～H30)

- 幼児教育センター設置
- 幼児教育アドバイザー配置研究
- 市町担当者会の開始
- 全施設対象保育者研修の開始
- 幼小接続の全県調査
- 幼小接続モデルカリキュラムの作成

幼児教育推進体制の活用強化事業(H31～R3)

化事業(H31～R3)

- 幼児教育アドバイザー等研修の開始
- 市町主催研修支援事業
- 幼児教育GOOD DESIGN AWARD開始
- 各種保育資料の作成
- 認可外保育施設訪問支援
- 静岡県版幼小接続モデルカリキュラム活用促進事業

【成果】

- 幼児教育アドバイザー等配置市町
(H29) 9市町→(R3)30市町
- 県主催研修会参加者数
(H28)300人→(R3)443人
- 幼小の交流割合
(H28)74.6%→(R3)89.8%

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



【静岡県の子児教育の現状と課題】

アドバイザー等の配置は進んでいるが、その役割が市町によって異なる。私立や保育所への研修支援に地域差がある。

外国籍や発達障害等の特別な配慮を必要とする子児が増加しており、各施設では、その対応や支援に苦慮している。

子児教育施設と小学校との交流は進んだが、子児教育と小学校教育を円滑に接続するための教育課程の編成等の取組まで進んでいるところは少ない。



- 指導者も含め保育者の一層の専門性を高める研修の充実が求められる。
- 福祉等の専門職と連携して、各施設を訪問する子児教育推進体制の強化が求められる。
- 子児教育と学校教育について相互理解を深め、校種間の円滑な接続を意識した教育保育実践をすることが求められる。

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



令和4年度静岡県幼児教育センター組織図

* 赤字は今年度から拡充した人員

静岡県教育委員会

義務教育課

企画・免許班
* 当事業の事務処理・
会計処理、幼稚園免許

指導班
* 小中学校指導担当

人事班
* 教職員人材
バンクを管理

連携・協働

連携・協働

連携・協働

静岡県幼児教育センター

【幼児教育推進室】

幼児教育推進室長(1名) 幼児教育推進班長(1名)

【併任 2名】
保育班長
(こども未来課)
指導班長
(私学振興課)

【常勤 2名】
教育主査
(幼児教育担当)
教育主任
(幼小接続担当)

【非常勤 3名】
幼児教育支援員
(幼児教育アドバイザー)
保育ソーシャルワーカー
(ソーシャルワーカー)
インクルーシブ支援員
(個別指導員)

静岡教育事務所
静岡西教育事務所
* 公立幼稚園訪問
* 研修運営協力
* 実証研究協力

連携・協働

社会教育課
健康体育科
特別支援教育課
* 研修運営協力
* 実証研究協力

連携・協働

連携・協働

連携・協働

委嘱

【幼児教育サポートチーム】

公認心理師、言語聴覚士、特別支援教育士、日本語指導コーディネーター
大学教員、小学校管理職経験者、幼児教育施設長経験者

健康福祉部こども未来局
こども未来課
※ 保育所
※ 認定こども園
※ 認可外保育施設

スポーツ・文化観光部
総合教育局
私学振興課
※ 私立幼稚園

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会

令和4年度静岡県幼児教育推進体制

文部科学省

【就学前教育推進協議会】

県教育委員会(教育監・義務教育課・社会教育課・各教育事務所)・県庁内(こども未来課・私学振興課)
政令市幼児教育主管課・代表市町幼児教育主管課・公立幼稚園認定こども園長代表
私立幼稚園振興協会・保育所連合会・保育士会・静岡県校長会 大学教授等(学識経験者)

- * 国庫補助金事業の活用
- * 研究成果等の共有

* 事業の進捗状況の把握・助言

静岡県教育委員会

静岡県幼児教育センター

幼児教育サポートチーム

県内の保育者養成課程のある大学・短大の教授・講師等

- * 研修や実証研究、保育資料等の作成において協働
- * 初任者研修において協働実施の協定

* アドバイザー配置の働きかけ・配置相談

- * アドバイザー等の研修・育成、保育者研修
- * サポートチームの活用
- * 担当者会の開催
- * 保育資料、好事例、研究成果等の共有

市町教育委員会学校教育主管課・市町幼児教育主管課

【アドバイザー等未配置】

3市町

【アドバイザー等配置】

32市町(内、センター設置3市町)

【国庫補助金活用市町】
袋井市 富士市
牧之原市 函南町

* 参考:幼保小の架け橋プログラム事業委託先 袋井市・掛川市

- * 保育者研修の実施
- * サポートチームの派遣
- * 幼児教育等に関する情報提供

- * 保育者研修
- * 人材育成
- * 協議会等の開催
- * アドバイザーの施設巡回訪問

認可外保育施設

幼稚園・保育所・認定こども園

小学校

- * 幼児・児童・教職員の交流
- * カリキュラムの接続

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会

幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業 (R4～)

県内全ての子どもに質の高い幼児教育を提供するため、より専門性の高い保育者の育成と福祉等専門職と連携する等体制の強化を図る。

— 深める —

【研修開催】

全施設種の保育者を対象に働き方の多様性にも対応した方法でキャリアアップに応じた研修内容の充実（特に指導者の資質向上・育成）を図る。

初任者研修（園外6回）

幼児教育アドバイザー等研修（3回）

リフレクションシート活用研修

都道府県協議会（2会場）

中堅研・希望研修（5回）

「インクルーシブ保育（2会場）」

「幼児理解」

「幼小接続期の教育保育」

「幼児教育マネジメント（管理職研修）」

「乳幼児保育研修」

免許法認定講習（10日）

【調査・研究】

幼児教育への人材投入拡大による実証、福祉や義務教育の専門職との連携強化、公私・施設類型問わずの支援体制の検証等の調査

インクルーシブ教育保育研究「Spring プロジェクト」
(研究協力施設での実証研究)

幼児教育サポートチーム巡回訪問研究
(研究協力施設への巡回訪問)

— つなぐ —

【連携体制構築】

センターがプラットフォーム的な役割を担い、県内の市町間、施設種間、関係機関間の連携を促進する。

幼児教育サポートチーム訪問支援事業
(市町・私立幼稚園・認可外保育施設対象)

初任者研修指導員・担当者連絡会（1回）

初任者研修運営協議会（2回）

市町担当者連絡会（1回）

就学前教育推進協議会

(幹事会・特別部会)

(年2回)

庁内関係課・市町担当者(政令市含む)
幼児教育関係団体・学識経験者

— 広げる —

【情報発信】

研究成果や園・校での好事例等を県内に発信し、広く幼児教育への啓発を進める。

「幼児教育 GOOD DESIGN AWARD」
の選定・発信

就学前教育情報発信サイト「わっ！」
・各種保育資料、
・幼小接続カリキュラム事例等
・アドバイザーの手引き
・アンケート結果
・研修情報・報告
・子育て Q&A

幼児教育センターだより『わっ！びよん通信』
(隔月配信)
・サポートチーム訪問
・保育者・担当者紹介
・インクルーシブ教育保育研究

□ R4 新規事業

..... 前年度からの変更

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会

インクルーシブ教育保育研究「Springプロジェクト」

全ての子供のWell-Beingの向上をめざして、外国籍や発達障害等の特別な配慮を必要とする幼児に対しソーシャルワークのスキルや特別支援教育等の専門性を有する人材を活用しながら、園内のインクルーシブ保育体制、幼児へのアセスメントと支援方法、小学校への円滑な接続のあり方等を、異なる施設種で調査・研究し、幼児期から支援を開始することの教育的効果を検証するとともに、全ての施設で活用できる保育プログラム等を開発する。

研究モデル園

沼津市内の公立保育所・私立保育所
私立幼保連型認定こども園

《Springプロジェクトの名称》

Shizuoka Education System “Ring” の略 幼小接続期において関係機関が輪になって組織的に教育保育を行うという本研究の概要をイメージした。

《研究柱1》

園(組織)としての支援体制確立

《活用人材》 保育ソーシャルワーカー
(モデル園に月1回訪問)

- 園の支援体制に関するコンサルテーション
 - ・外部関係機関と園をつなぐ
 - ・ケース会議・保育者研修等への参加
- クラス運営に対するコンサルテーション
 - ・基礎的環境整備への助言
 - ・合理的配慮への助言
- 保護者支援に対するコンサルテーション
 - ・子育て支援
 - ・保護者と園と外部関係機関をつなぐ

《研究柱2》

個別指導方法の開発(大学との協働)

《活用人材》 インクルーシブ支援員(個別指導員)
(モデル園に週1回訪問)

- 個別指導の対象児の整理
 - ・既存の支援機関(発達支援センターや言葉の教室等)との役割分担の明確化
- 幼児版RTIモデルの開発
 - ・保育者でもできるアセスメント方法の開発
 - ・アセスメントの結果を踏まえた支援方法や保育教材の開発

《研究柱3》

幼小接続の体制整備

《活用人材》 保育ソーシャルワーカー
インクルーシブ支援員(個別指導員)

- 個別の指導計画等の作成と活用
 - ・園での指導と保護者の子育てをつなぐツールとする。
 - ・園での教育と小学校教育の円滑な接続を図るツールとする。
- 支援の連続性を担保する仕組み作り
 - ・既存の体制(幼小の連絡会や幼から小への資料提出)の改善・充実
 - ・研究推進委員会を通して幼小連携の強化

研究の流れ

一年目

- ・実態把握
- ・人材活用による園の支援体制構築
- ・個別の指導計画等作成
- ・幼児版RTIモデルの開発

二年目

- ・幼小連携強化
- ・指導計画、支援体制、幼児版RTIモデル等の随時見直し

三年目

- ・抽出児追跡(幼→小)
- ・効果検証
- ・まとめ、周知

研究推進委員会の設置

研究を推進する組織として研究推進委員会を設置し、研究の3つの柱について、各研究モデル園の実態に即した成果と課題や改善の方向性等を協議する。モデル園ごとに年間2回ずつ計6回開催する。

(研究リーダー) 常葉大学准教授 赤塚めぐみ氏 (スーパーバイザー) 東京学芸大学名誉教授 小池敏英氏

(研究推進委員) 研究協力施設代表者、関係小学校代表者、沼津市教育委員会指導主事、静東教育事務所幼児教育担当
県保育ソーシャルワーカー、県インクルーシブ支援員、県幼児教育支援員、県幼児教育推進室長

幼児教育サポートチーム訪問支援事業

幼児教育・保育の質を全ての子供に保障するため、県が多職種からなるサポートチームを設置し、施設の課題やニーズに的確に対応できるサポートメンバーが幼児教育アドバイザーとともに訪問し、助言等をする。

施設等のニーズ
市町のニーズ



幼児教育アドバイザーの専門性の強化

幼児教育アドバイザー
＋
サポートチームメンバー

【幼児教育サポートチーム】

公認心理師、言語聴覚士、特別支援教育士、日本語指導コーディネーター、
大学教員、小学校管理職経験者、幼児教育施設長経験者

マッチングによる効果的な支援

市町の幼児教育アドバイザーの巡回訪問等に同行し、外国籍や発達障害のある幼児への対応、小学校教育を見据えたカリキュラム作りなど、専門的な視点から助言や情報提供します。

市町主催の幼児教育又は幼保小合同研修において、講義や演習、事例発表等への講評等の講師を務めます。

特別な配慮が必要と思われる子へのアセスメントや、支援方法の助言、最新の国や県の動向についての情報提供、園内研修の講師など、施設のニーズに応じた支援をします。

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



【幼小の円滑な接続を目指した県内の取組】

令和4年度に幼児教育施設と小学校等の職員が合同で研修を実施する市町数 **28**



「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



【事例①】幼小合同研修会 保育参観＋事後協議



実際の子供の様子を参観し、事後に、子供の姿からどんな資質能力が育っているのか「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点を協議をする。（感染症対策で保育参観が難しい場合、ビデオや写真から協議するところもあった。）

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



【事例② 幼保小中合同研修会 リフレクションシート活用研修】

園内研修を活性化して、学習者プロフェッショナル

保育プロセスの質 リフレクションシート

保育のプロセスは日々の軌跡の上を歩み、
園内研修の気づきを定めてデザインします。

保育のプロセスは日々の軌跡の上を歩み、
園内研修の気づきを定めてデザインします。

保育のプロセスは日々の軌跡の上を歩み、
園内研修の気づきを定めてデザインします。



園内研修を活性化して、学習者プロフェッショナル

基本コンセプトの視点から子どもの姿を振り返る

子どもの姿を振り返ることは、保育者の学びにつながる。振り返ることで、子どもの姿を振り返ることは、保育者の学びにつながる。

子どもの姿を振り返ることは、保育者の学びにつながる。振り返ることで、子どもの姿を振り返ることは、保育者の学びにつながる。

子どもの姿を振り返ることは、保育者の学びにつながる。振り返ることで、子どもの姿を振り返ることは、保育者の学びにつながる。



静岡大学田宮教授が開発したリフレクションシートを活用した研修。まず、田宮教授から子供の姿を振り返ったエピソードを記述をすることの意義について講義を受けた後、実際に作成したエピソードをもとに「安定感」「必要感」「達成感」の視点から、異校種の教員で協議することで、教員の教育観や子供観が広がり、子供理解に基づく教育の在り方について学ぶことができる。

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会



【事例③ 幼児教育アドバイザーを活用した幼小の円滑な接続】



静岡県伊豆半島南部にある賀茂地域では幼児教育アドバイザーが域内にある全ての幼児教育施設及び小学校を訪問している。小学校には1学期に訪問し、授業参観後、校長や1年担任と協議する中で、幼児期に育まれた資質能力について伝えるとともに、それを授業の中にどのように生かしていくか助言している。

「有徳の人づくり」を進めています

静岡県教育委員会



【事例④ 中学校における授業改善】



浜松市立佐久間中学校では「環境を通じた教育、遊びを中心とした指導」という幼児教育の基本を学び、それを授業改善に役立てている。自分の授業を幼児教育の視点から振り返り、改善の方向性を考えることができる。

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会



幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に関する方針
～ 子どもの健やかな学びを支えるために ～



平成26年3月
静岡県教育委員会
静岡県立学前教育推進協議会

静岡県版幼小接続モデルカリキュラム
「じぶんでできた! いっしょにやろう!」
～連続性・一貫性のある幼小接続カリキュラムを目指して～



静岡県教育委員会

園内研修を活性化して、保育をブラッシュアップ
保育プロセスの質 リフレクションシート

保育のプロセスの質を向上させるには、園内研修での実践を振り返りデザインしましょう。

「保育実践振り返りシート」を使って振り返りましょう。
Excel形式のワークシートもダウンロードできます。



【お問い合わせ先】
静岡県立学前教育推進協議会
〒424-8501 静岡県立学前教育推進協議会
〒424-8501 静岡県立学前教育推進協議会
〒424-8501 静岡県立学前教育推進協議会



本プレゼンの中で紹介した上記資料はHPからダウンロードできます。まずは、右のQRコードから静岡県幼児教育センターWebサイトをご覧ください。



【問合せ先】
静岡県幼児教育センター(静岡県教育委員会義務教育課) [TEL:054-221-3287](tel:054-221-3287)
URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk060/youzi/top.html>

「有徳の人づくり」を進めています
静岡県教育委員会

